

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 極楽湯  
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 新川 隆丈  
 (氏名) 松本 俊二

TEL 03-5275-0580

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,886	6.7	3	95.7	5		32	
21年3月期第3四半期	6,456		74		25		92	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	3.08	
21年3月期第3四半期	8.74	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	14,006	4,536	31.3	413.44
21年3月期	13,230	4,592	33.7	420.90

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,378百万円 21年3月期 4,458百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		2.00		4.00	6.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,600	8.7	250	21.0	200	11.0	100		9.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 有

〔注〕詳細は、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	11,529,000株	21年3月期	11,529,000株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	937,500株	21年3月期	937,500株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	10,591,500株	21年3月期第3四半期	10,591,500株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は、3ページ〔定性的情報・財務諸表等〕3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融不安に端を発した景気の後退に一部持ち直しの兆しが見え始めたものの世界的な金融不安の影響は依然大きく、企業収益は大幅に悪化し、設備や雇用の過剰感は解消せず、景気の低迷が続く厳しい状況にありました。個人消費も新たな景気対策の効果が期待されるものの、一部での政策的効果に限定され、低迷したまま先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましても、消費マインド低迷の影響を受け、顧客単価の低下が見られるものの、直営店舗数の増加に加えて、青果等の物販の展開強化及び店舗建物の改装等を積極的に実施したことによって、連結売上高は前年同四半期に比べて増加いたしました。また、販管費等のコスト削減を積極的に進めているものの、新規出店に伴った初期費用の発生に加えて、受発注システム導入に伴う費用を集計する期間設定に関連し、一時的に売上原価が増加したこと等により、連結営業利益は前年同四半期に比べ、減少となりました。

一方で、中国を中心とする東アジア地域での温浴事業の展開を積極的に進めており、11月に中国遼寧省大連市に当社100%子会社「大連極楽温泉開発技術諮詢有限公司」を設立したことに加え、中国最大の金融グループの一つであるCITICグループの投資運用会社CITIC International Assets Management Limitedとマーチャント・バンカーズ株式会社と業務・資本提携契約を締結し、香港に合弁会社「Gokurakuyu China Limited」を設立することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきまして、売上高は6,886百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。損益面につきましては、営業利益3百万円（前年同四半期比95.7%減）、経常利益5百万円（前年同四半期経常損失25百万円）、四半期純損失32百万円（前年同四半期純損失92百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ776百万円増加しました。これは主に、新規出店等による建物及び構築物（純額）の取得686百万円、敷金及び保証金の増加103百万円によるものであります。

負債合計は9,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ831百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金の増加403百万円、短期借入金の増加298百万円によるものであります。

純資産合計は4,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円の減少となりました。これは主に、期末配当金の実施42百万円によるものであります。また、自己資本比率につきましては、31.3%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は865百万円となり、前連結会計年度末に比べ、72百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、555百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失2百万円であったものの、減価償却費631百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,212百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出809百万円、貸付けによる支出470百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、584百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出571百万円であったものの、長期借入れによる収入1,274百万円があったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は概ね計画的に推移しているものの、営業利益及び経常利益、当期純利益は計画を下回っております。しかしながら、現時点においては不確定要素が多いことから、平成21年10月30日に開示いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、これらの業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該たな卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しい時には、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

法人税等の算定方法

法人税等の計上は、簡便な方法により計算しております。また、その他影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

前連結会計年度まで、たな卸資産の評価方法を移動平均法による原価法にて会計処理しておりましたが、受発注システムの導入に伴い、総平均法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5.【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	875,983	938,616
売掛金	76,892	121,319
たな卸資産	31,247	20,314
繰延税金資産	14,542	22,147
その他	625,586	276,894
流動資産合計	1,624,251	1,379,291
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	3,791,951	3,105,366
工具、器具及び備品（純額）	105,679	25,508
リース資産（純額）	3,256,575	3,571,574
土地	244,250	244,926
建設仮勘定	106,689	341,138
有形固定資産合計	7,505,147	7,288,515
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	39,584	54,841
その他	62,562	49,293
無形固定資産合計	102,147	104,134
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	90,189	58,539
繰延税金資産	291,237	248,301
敷金及び保証金	3,715,145	3,611,967
その他	717,959	562,536
貸倒引当金	39,200	22,600
投資その他の資産合計	4,775,332	4,458,744
<b>固定資産合計</b>	12,382,627	11,851,394
<b>資産合計</b>	14,006,879	13,230,685

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	298,353	265,835
短期借入金	932,900	634,000
1年内償還予定の社債	84,000	84,000
1年内返済予定の長期借入金	1,039,700	740,000
リース債務	446,501	428,491
未払金	261,959	215,446
未払法人税等	7,672	35,043
賞与引当金	22,859	42,160
その他	655,234	577,090
流動負債合計	3,749,179	3,022,068
固定負債		
社債	180,000	222,000
長期借入金	2,243,600	1,840,300
リース債務	3,121,848	3,425,503
退職給付引当金	41,211	30,905
デリバティブ債務	-	16,927
その他	134,573	80,935
固定負債合計	5,721,233	5,616,571
負債合計	9,470,412	8,638,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,032,626	2,032,626
資本剰余金	2,179,226	2,179,226
利益剰余金	640,375	715,357
自己株式	466,875	466,875
株主資本合計	4,385,352	4,460,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,363	2,327
評価・換算差額等合計	6,363	2,327
新株予約権	157,477	134,038
純資産合計	4,536,466	4,592,045
負債純資産合計	14,006,879	13,230,685

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,456,008	6,886,229
売上原価	5,858,136	6,374,178
売上総利益	597,871	512,050
販売費及び一般管理費	523,561	508,842
営業利益	74,310	3,208
営業外収益		
原油スワップ差益	17,764	-
協賛金収入	29,809	69,866
その他	39,483	61,715
営業外収益合計	87,057	131,581
営業外費用		
支払利息	112,890	108,797
デリバティブ評価損	61,685	-
その他	12,094	20,021
営業外費用合計	186,670	128,818
経常利益又は経常損失( )	25,302	5,971
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,401
投資有価証券売却益	21,943	167
固定資産売却益	-	1,931
賞与引当金戻入額	10,186	7,068
その他	4,425	-
特別利益合計	36,555	10,569
特別損失		
投資有価証券評価損	128,401	2,109
固定資産売却損	-	391
貸倒引当金繰入額	-	16,600
その他	3,149	-
特別損失合計	131,551	19,101
税金等調整前四半期純損失( )	120,298	2,559
法人税、住民税及び事業税	35,008	62,619
法人税等調整額	62,738	32,563
法人税等合計	27,730	30,056
四半期純損失( )	92,567	32,616

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,143,712	2,311,027
売上原価	1,919,991	2,193,781
売上総利益	223,720	117,245
販売費及び一般管理費	156,594	155,495
営業利益又は営業損失( )	67,125	38,249
営業外収益		
協賛金収入	23,809	35,961
その他	11,958	17,433
営業外収益合計	35,767	53,395
営業外費用		
支払利息	37,223	37,344
デリバティブ評価損	51,972	-
その他	8,012	4,303
営業外費用合計	97,208	41,648
経常利益又は経常損失( )	5,684	26,502
特別利益		
新株予約権戻入益	-	16
投資有価証券売却益	21,943	-
特別利益合計	21,943	16
特別損失		
固定資産売却損	-	391
投資有価証券評価損	35,231	2,109
貸倒引当金繰入額	-	7,000
特別損失合計	35,231	9,501
税金等調整前四半期純損失( )	7,603	35,987
法人税、住民税及び事業税	12,247	1,987
法人税等調整額	9,615	379
法人税等合計	2,631	2,366
四半期純損失( )	10,235	33,620

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	120,298	2,559
減価償却費	676,014	631,838
退職給付引当金の増減額( は減少)	7,380	10,306
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	31,840	-
貸倒引当金の増減額( は減少)	-	16,600
賞与引当金の増減額( は減少)	32,989	19,301
受取利息及び受取配当金	8,413	11,086
支払利息及び社債利息	117,922	113,011
デリバティブ評価損益( は益)	61,685	16,927
投資有価証券評価損益( は益)	128,401	2,109
投資有価証券売却損益( は益)	21,943	-
売上債権の増減額( は増加)	79,082	44,426
たな卸資産の増減額( は増加)	6,901	10,933
未収消費税等の増減額( は増加)	126,828	40,128
未払消費税等の増減額( は減少)	66,078	33,073
仕入債務の増減額( は減少)	38,303	32,517
その他	10,675	22,089
小計	992,029	738,890
利息及び配当金の受取額	3,824	4,947
利息の支払額	113,034	98,333
法人税等の支払額	139,710	89,991
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>743,108</b>	<b>555,512</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	168,842	809,749
有形固定資産の売却による収入	666,359	59,991
投資有価証券の取得による支出	-	49,997
投資有価証券の売却による収入	25,943	9,599
差入保証金の差入による支出	503,387	148,056
差入保証金の回収による収入	-	44,878
貸付けによる支出	100,000	470,000
貸付金の回収による収入	76,000	275,866
建設協力金の支払による支出	-	128,000
その他	3,639	12,552
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>287</b>	<b>1,212,913</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	50,000	298,900
長期借入れによる収入	-	1,274,000
長期借入金の返済による支出	657,000	571,000
リース債務の返済による支出	423,494	331,539
配当金の支払額	83,091	42,683
その他	44,368	42,908
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,157,954</b>	<b>584,768</b>
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	415,133	72,632
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,123	938,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,177,989	865,983

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。